



協定書を締結し記念撮影に応じる市長と伊達商工会議所の寿浅会頭



## 伊達経済センターを「緊急一時避難施設」に指定

3月22日、市と伊達商工会議所は、『津波災害又は水害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定書』を締結しました。

市では、東日本大震災を教訓に有珠山噴火だけでなく、大規模な津波災害も想定した「伊達市地域防災計画」の見直しを進めていますが、昨年の震災発生時、海岸部で多くの人命が奪われたことを鑑み、市内でも海岸周辺地区在住の住民避難を想定した「緊急時一時避難施設」の確保が急務になっていました。

今回、津波にも耐えうる鉄筋コンクリート構造で約80名の避難者を収容できる伊達経済センター（網代町）を所有する伊達商工会議所に市が要請し、この日を迎えました。

## 伊達市開拓記念館「ひな祭り」無料開放

3月3日、市開拓記念館が「ひな祭り」で無料開放されました。

巨理伊達家が明治時代に移住した際に持ち込んだ江戸時代のひな人形を、多くの方に見てもらおうと企画され、毎年この日に無料開放しています。

今年は道内から300人以上が訪れ、観覧者は巨理伊達家代々のひな人形を目にし、いにしへの文化に思いをはせていました。



小さなお子さんも来場してくれました

一般になじみがない「くくりわな」講習会の様子



## エゾシカなどによる農作物の被害を軽減 わな猟（くくりわな）技術講習会

2月29日、カルチャーセンターで市鳥獣被害防止対策協議会主催の「わな猟（くくりわな）技術講習会」が開催されました。

この講習会は、わな猟免許を取得している営農者約20名が参加し、NPO法人ファーミングサポート北海道代表の原田勝男さんを講師に、くくりわなの説明と実演が行われました。原田さんは、このわなで、捕獲はもちろん、畑にシカが近づきづらくなる効果があることを解説しました。

## 放課後CLUB 『英語であそぼう』

3月14日、市主催の催し『放課後CLUB』がカルチャーセンターで開催されました。

小学生に放課後の交流の場を提供することを目的に毎月1回行われ、今回は「英語であそぼう」。

市のALTであるキャサリンさんが講師で、多くの児童と保護者が参加しました。参加者が各自自己紹介したあとは、椅子取りゲームの一種「フルーツバスケット」や、じゃんけん、カルタなどの慣れ親しんだ遊びを英語を使い楽しく取り組んでいました。



英語でじゃんけん。「1・2・3！」

3・4年生が6年生の似顔絵を披露



## 6年生ありがとう 大滝小学校「6年生を送る会」

3月9日、大滝小学校で『6年生を送る会』が行われました。今年3月で6年間なれ親しんだまなびやに別れを告げる卒業生は10名。お世話になった6年生に1年生から5年生の在校生が「今までどうもありがとう」という感謝の気持ちをこめてメッセージと、残りわずかな一緒の時間を楽しんでもらえるようにと用意したクイズや器楽演奏、よさこいの発表を行いました。お礼に卒業生も歌とダンスを披露し、全校児童から大きな拍手が送られていました。



## 来年4月オープン 「虹の橋保育園」 地鎮祭

3月5日、舟岡町で「虹の橋保育園」地鎮祭が執り行われました。

市では、市内に7カ所の市立保育所を開設していますが、いずれも老朽化が著しく、施設の改修などには市単独で多額の費用を要します。

また、女性の就業志向の高まりや働き方の多様化で、待機児童の発生や0歳児保育や延長・休日保育などへの対応が急務になっていました。

今回、市の公募に市内で京王幼稚園を運営する学校法人伊達育英学園が名乗りを上げ、運営母体となる社会法人くさぶえ（小倉拓理事長）を設立し、来年4月に保育所を開設する運びになりました。



虹の橋保育所が建設される市営にれの木団地近くの市有地